

試験結果報告書

空気中のPM2.5微小粒子状物質の除去性能試験

平成 30 年 4 月 25 日

株式会社 ハッピートーク 殿

遠赤外線応用研究会

ご依頼頂きました表題の件につきましてご報告申し上げます

記

報告書 No.218S- 879

本件についてのお問い合わせは、下記にご連絡下さい。

〒542-0081
大阪市中央区南船場4-9-11 順横ビル3F

遠赤外線応用研究会
TEL 06-6251-7619

試験結果報告書

No.218S-879(1)

平成30年4月25日

株式会社 ハッピートーク 殿



遠赤外線応用研究会
〒542-0081大阪市中央区南船場4-9-11

試験項目 ゼロ磁場発生ペンダントの空気中のPM2.5微小粒子状物質の除去性能を確認する。

試験試料 ゼロ磁場発生ペンダント

試験条件 1) 試験日時 平成30年4月24日
2) 測定機器 DYDOS CORPORATION製 DC110プロB型

試験方法 60L (50cm×40cm×30cm) のボックス内に60,000個/cc濃度のPM2.5微小粒子状物質を入れ、時間経過による濃度を測定し、空試験結果とする。次に、ゼロ磁場発生ペンダントをボックス内の中心部に吊し、上記濃度のPM2.5微小粒子状物質を入れ、時間経過による濃度を測定し、比較検証する。
なお、表示の数値としては初期濃度を100%として、PM2.5が減少していく割合を連続測定する。

試験結果

PM2.5除去性能試験結果

	経過時間			除去率
	初期濃度	30分後	60分後	
ゼロ磁場発生ペンダント	100	75.2	60.7	39.3
空試験	100	93.4	86.7	13.3

(単位:%)

考察 ゼロ磁場発生ペンダントを使用した場合、PM2.5の除去率は60分経過後で39.3%に達した。一方、空試験の場合は13.3%であった。
このことから、ゼロ磁場発生ペンダントの使用には、空気中のPM2.5の除去に効果があることが示唆された。
尚、本試験結果は一定の密閉空間での試験による結果であり、実使用空間での実証試験ではありません (カタログなどには明記して下さい)。

本報告書は供試料及び試験状況下においてのものであり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

PM2.5除去試験グラフ

